

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】宍粟市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
18	2007.3.29			兵庫県	宍粟市	43,302	658.60
構想の要約		古くから林業が盛んであることを背景に従来から木質系をはじめとするバイオマスの利活用が図られてきたが、林地残材、食品廃棄物、食品加工残渣、家畜排せつ物のさらなる利活用を推進することにより、事業所での乾燥処理・冷暖房・給湯等に使用されている化石燃料をバイオマスで代替に取り組む。					
構想に盛り込まれた事業		①木質系廃材利活用 ②林地残材利活用 ③家畜排泄堆肥化 ④稲わら・もみ殻利活用 ⑤食品廃棄物の飼料化・炭化利用・メタン発酵 ⑥家庭・事業系食品残さ堆肥化 BDF ⑦浄化槽汚・下水污泥堆肥化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝	○	
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙	○			
下水污泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス			目標利用量			利用方向	
(廃=廃棄物系、未=未利用系)			(t/年)	(t/年)	割合		
森林系	① 廃	木質系廃材	製材屑	34,646	17,947	95%	畜産敷料や木屑・木炭、ボイラー燃料、炭化して土壌改良材等
			その他木質系廃材	160	83	100%	粉砕して堆肥化、オガ炭等の原材料利用、炭化して土壌改良材等
	② 未	間伐材・林地残材		7,445	3,856	40%	搬出率を高めて間伐材マテリアル利用、砂防など土留め材料等
農業系	③ 廃	家畜排泄物		25,387	8,911	90%	堆肥化
	④ 未	稲わら		4,696	1,921	95%	畜産の飼料、農地へのすきこみ
	⑤ 未	もみ殻		783	320	70%	くん炭、炭化して土壌改良材、農地へのすきこみ
工業系	⑥ 廃	食品廃棄物	産業廃棄物系	2,570	1,136	90%	おから；家畜飼料や堆肥、炭化利用。でんぷん：メタン発酵
			廃食油	117	83	95%	石炭・BDFなどで高付加価値化を進める
生活系	⑦ 廃	生ゴミ	一般廃棄物系	2,400	1,061	100%	堆肥化、最終的にはRDF
			廃食油	22	16	100%	BDF、石炭などで高付加価値化を進める。
			一般廃棄物系	4,763	1,692	100%	資源化、原材料化、最終的にはRDF
	⑧ 廃	紙くず		130	50	100%	堆肥化
	⑨ 廃	浄化槽等汚泥		5,600	2,150	100%	堆肥化
	⑩ 廃	下水汚泥		280	145	84%	堆肥化
	⑪ 未	剪定枝	除草屑・剪定枝				
廃棄物系バイオマス 計					36,479	94%	
未利用バイオマス 計					6,242	53%	

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)